◆ 小林ぜんいち 実現しました ◆

中央3-36-10付近へ 『看板設置



2.中央4-20-8付近へ 看板設置



3.東中野2-9-23付近へ 道路標識移設



4. 中央4-24-1付近へ カーブミラーの設置



■なかの区報3/20号に震災特集

(平成23年12月提案) 中野区内全戸に配布された 「なかの区報」に

「東京に大地震」

~その瞬間を生き抜くために~ の特集を掲載。

「災害用ポケットマニアル」は、 切り取って携帯できます。



行政防災無線放送の内容が、 電話で確認できるように なりました。(4月1日より開始)

電話=中野区役所 3228-5726



防災

■木造住宅の無料耐震診断のおすすめ

耐震に不安のある在来木造住宅を対象に、図面などを基に行う簡易な診断です。

- ▶ 対象は、●一戸建ての住宅、長屋又は共同住宅
 - ●2階建て以下のもの
 - ●昭和56年5月31日以前に建築されたもの

2-耐震診断(無料)

簡易耐震診断の結果、特に耐震性に不安のある建築物は、さらに詳しい現地での耐震診断が必要となります。

- 1、2共に、区へお申し込頂くと、区の発行した登録証を携帯した「耐震診断士」がお宅に派遣されます。
- ■詳細なお問い合わせ先/中野区役所 9階8番窓口 建築分野 耐震化促進担当 TEL.03-3228-5576

■家具の転倒を防止する器具の取り付けを

中野区では、あなたの命を地震から守り、避難経路を確保するために、

家具の転倒を防止する器具の取り付けをお勧め致しています。

- 1- 器具の取付工事の希望者に、耐震改修施工者を紹介しています。
- 2-65歳以上の方のみの世帯、障がい者のみの世帯は、工事費は無料ですが、固定器具は有料となります。
- 区へ申し込みいただくと、区の発行した登録証を携帯した「耐震改修施工者」をお宅に派遣致します。
- ■詳細なお問い合わせ先/中野区役所 9階8番窓口 建築分野 耐震化促進担当 TEL.03-3228-5576



ホームページュト

小林ぜんいちオフィシャルWEBサイト

サイトURL:http://kobayashizenichi.com/ ブログURL:http://blog.goo.ne.jp/kobayashi_zenichi

Facebookは、小林ぜんいち または Zenichi Kobayashi Twitterは、小林ぜんいち または @koba_zen

Facebool



NEW KOMEITO

2012年4月発行

平成24年度当初矛算を可決

一般会計当初予算は1164億7800万円(前年比4.6%増)

一般会計の予算規模は、1,164億7,800万円で、前年度に比べ51億800万円、4.6% の増。これは、公園用地の取得や耐震対策経費など、より安全な中野のまちづくりを進めるた めの臨時的な投資的経費が大きく伸びたほか、将来を見据えて基金の積立を拡充したこと、 また、起債の満期一括償還が到来したこと、生活保護費などの扶助費が増加したことなどに よるものです。特別区税など一般財源が21億円以上減少する厳しい財政状況下、事業見直 しによって得た財源を、保育や学校教育、高齢者、障害者施策の充実などに振り向けました。

肺炎球菌ワクチンで高齢者の肺炎予防

公明党が推進!

高齢者の

中野区では、平成24年4月1日より、75歳以上の方の肺炎球菌ワクチン接種費用を 1回、2,000円助成することが決まりました。

> 肺炎は、日本人の死亡率4位。 高齢の方では1位となっています。 肺炎の約半数は、肺炎球菌によるものです。

肺炎球菌ワクチンを接種することで、約80%は予防できると考えられています。



。 おわせは、公明党中野区議団まで●〒164-8501東京都中野区中野4-8-1 公明党控室 掲示責任者 公明党中野区議団 TEL: 03-3228-8875

高齢者の肺炎球菌ワクチン 接種助成がスタート

中野区では平成24年4月1日より、 75歳以上の方の肺炎球菌ワクチン 接種費用を、1回2,000円助成する ことが決まりました。

肺炎は日本人の死亡率4位、高齢の 方では、1位となっています。

肺炎の約半数は肺炎球菌によるも のです。

肺炎球菌ワクチンを接種すること で、約80%は、予防できると考えら れています。

中野区議会議会報告 平成24年 第1回 定例会 予算特別委員会



2月28日予算特別委員会

総括質疑項目

1.平成24年度予算案について

- 1-①中野刑務所跡地防災公園建設基金の 活用について
- 1-②中野区 区有施設耐震計画について

2.震災・防災対策について

- 2-①防災運動会開催について
- 2-②軽可搬ポンプに代わる新たな資機材の 導入について

3.学校教育について

- 3-①法教育について
- 3-②防災教育について
- 3-③東京国体に向けての取り組みについて

4.建築行政について

- 4-①木密地域不燃化10年プロジェクトについて
- 4-②災害時に対応機能の有る設備を整えた 建築物について
- 4-③容積緩和について

5.環境政策について

- 5-①エコポイントについて
- 5-②屋敷林について

6.中野区の観光について

- 6-①観光協会への支援について
- 6-②おもてなし運動を観光に活かしてはどうか

7.その他

7-①児童館などでの、薬の飲み方・使い方の 取り組みについて

Ⅱ平成24年度予算案

- ●10年以上活用されていない公園基金の、工事予定 は有るのか。
- ●工事予定のない基金を、生きた基金として活用すべ きではないか。
- ●将来的に基金をどのように管理していくのか。

答弁

- ●公園整備工事予定のめどは立っていない。
- ●基金の有効活用を検討していく。
- ●計画的運営のもと、適切に基金管理を行っていく。

平成24年度予算案

- ●今回変更する工法は、どのような工法か。
- ●特許が有ることで、設計、施工が共に特定の業者に なってしまうのでは。
- ●土曜、日曜も工事が行える。安全第一で工事を行っ てほしい。

答弁

- ●SRF工法で、工期短縮やコスト削減効果が有る。
- ●セミナーの受講により、区内業者も参入出来る。

小林

- ●防災訓練型の防災運動会(障害者と一般の方が 一体になり楽しみながら行う)を知っているか。
- ●新設される防災公園で、具体的に競技に取り入れて 行っては。
- ●障害者諸団体と連携して防災訓練に震災・防災性 向上に向けて取り組むべきでは。

答弁

- ●HPで知っている。
- ●総合防災訓練において、災害時要援護者の体験や 訓練などに検討して実施して参りたい。
- ●地域で可能と思う。参加の垣根を低くし楽しめる 訓練も行っていけばと思う。

小林

- ●新学習指導要領で、法教育をどのように行うのか。 現状は。
- ●北区では地元行政書士が、授業で規約などの法 教育を行っているが。
- ●中野区内でも、カリキュラムに具体的に入れては どうか。また、モデル校を作ってはどうか。

答弁

- ●小学校、中学校の社会科で扱っている。
- ●特化して行うことは出来ないが、各校に紹介して いく。
- ●公開の土曜授業で、行政書士をゲストティチャー としてお招きし保護者にも観て頂くよう各校に伝え ていく。

■【(木造住宅密集地域の不燃化)

住宅等、

商業施設

基準容積率

小林

- ●不燃化特区指定に向け、防災まちづくりの考え方 を地域に丁寧に説明することが重要だ。区の取り 組みは。
- ●弥生町3丁目周辺地区整備への、UR都市整備機構 の関わり方は。

答弁

- ●災害に対するまちづくりの必要性を説明し、地域の まちづくりの機運が高まるよう努めたい。
- ●弥生町地域のまちづくり支援や防災街区整備事業 の施行者となる。



- ●環境、防災面からも樹木、樹林の保護を検討しては。
- ●国や都に対し、税制面でも更なる優遇策を働き かけてはどうか。

答弁

- ●特別緑地保全地区は税の優遇、管理費の負担が
- ●近隣他区の事例等も参考に検討していく。
- ●国に対しては、特別区長会を通じて要望を行って いる。

薬の飲ませ方講座

小林

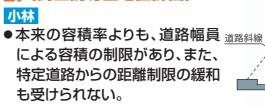
●児童館などで、地域の薬剤師の協力を得て実施 している「薬の飲ませ方、使い方講座」を拡大し てはどうか。

答弁

●他の児童館、すこやか福祉センターでも取り組んで いきたい。

内服薬





- 建て替えにより、既存建物より規模が小さくなる。
- ●街並誘導型地区計画策定など、地域活性化促進に 建築行政面から区は寄与しては。

- ●建築基準法により規定されているので、区として緩 和することは困難である。
- ●木密整備を条件に、地区計画は防災まちづくり、防 災性の向上に寄与出来る。
- ●地域特性や住民の意向を踏まえ、検討していく。

